

14期生 我妻 陽一さんと謝 宜真さんにお話を伺いました。

取材記事 / 周嘉柔、島田彩子

— 立教大学ビジネスデザイン研究科入学のきっかけを教えてください

我妻: 起業して10年の節目に、事業拡大と新規事業計画のためにはMBAの取得が必要と考えました。

謝: 社会人向けの大学院へ行きたいと思い、日本語学校の先生の紹介で立教大学大学院ビジネスデザインを選びました。

— 入学して良かった点と大変だった点は何ですか？

我妻: よかった事は、14期の仲間たちと出会えて一緒に学べたことです。職業も経歴も様々でしたが、だからこそお互いに良い刺激を受け、切磋琢磨して仕事と勉強の掛け持ちで2年間頑張れたのだと思っています。

謝: 大変だった点は、やはり言葉の壁だと思います。最初は、全然ついて行けませんでした。しかし、絶対に日本人の友達しか作らない、ということを決めて、最初の2週間は本当に寂しかったのですが、頑張りました。その後、日本人の友達がたくさん出来、日本語にも慣れることができました。

— 印象に残っている授業はありましたか？

我妻: 井潟先生の証券経済論です。金融のプロである先生の授業は、難しい金融のことを分かりやすく、とても丁寧に毎回ご教授いただき本当に勉強になりました。経済のことを学ぶことで世界の構造が見えてきて、そこで得た知識は日本の経済、そしてビジネスにつながりました。また、ゲストスピーカーの先生方も金融の第一線で活躍される著名な方々ばかりで、毎回楽しみに受講させて頂きました。

— ビジネスプランの時に、良かった点と大変だった点は何ですか？

我妻: 私たちは滝沢ゼミでしたが、優秀なメンバーが多く競い合うようにプランが完成していきました。また、先生の自由な方針がより全員の、面白いアイデア出しには効果的で、楽しいながらも内容の濃い半年間でした。大変だった事はたくさんのビジネスプランのアイデアが私たちにはあったので、1つに絞るのにとっても苦労しました。

— 起業したきっかけを教えてください

我妻: 在学中に、RBSで学んだ知識をアウトプットすることで自分のものにして、一緒にいくつものビジネスコンテストに挑戦しました。ファイナンスや戦略など覚えてたのツールを使いながら、ビジネスプランを作っていくうちに、共通の考え方が多いことに気づき、一緒に起業することを決めました。また年齢も国籍も性別も違う二人だからこそ、社会を変えるような新しいビジネスが創造できると思いました。

— 大学院で学んだことで役に立ったことは何ですか。またそれをどのように実務に活かしますか

謝: 会計の基礎知識や、ファイナンスです。現在弊社は資金調達段階で、ベンチャーキャピタルから求められる資料は、山のように多く、PL/CFや、資本政策表



我妻 陽一 CEO

Profile ● 1978年生まれ。立教大学大学院経営管理学修士課程を修了。大手電気工事会社で現場監督として働いた後、電気工事会社を10年経営。建設業は「人」が最大のリソースであるのに人の手配は昔のままで、とても非効率なことに疑問を持ち、2017年に運営会社 東京ロケットを設立。建設現場と職人をつなぐアプリ「助太刀くん」を開発中。2017年9月正式リリース予定。

謝 宜真 COO シャイン

Profile ● 1987年生まれの台湾人。日本語・中国語・英語を操るトライリンガル。立教大学大学院にて経営管理学修士を取得。現在フロントエンド担当になりデザインを猛烈に勉強中。

などの財務資料を作ったり、マネタイズや競合・市場分析などのプレゼン資料を作ったりしています。大学院で学んだことを、実務に活かして頑張っています。

— 今後の目標を教えてください

我妻: 夏にローンチ予定の、建設業の現場と職人さんをつなぐアプリ「助太刀くん」は現在開発中ですが、たくさんの方々にご理解いただき、調達・開発ともに、順調に進んでいます。今後はたくさんユーザーを増やし、日本の建設業界を変えるようなサービスに育てていきたいと考えています。また、設立した会社東京ロケットでは、他のビジネスにも挑戦して行く予定です。国内外を問わず、社会を変えるような画期的なサービスをどんどんリリースします。

— 在校生に向けてメッセージをお願いします

我妻: MBAは実務(ビジネス)のための学問だと思います。社会に出て実際のビジネスに、その知識を活用していかなければ意味がありません。それは経営者であっても、ビジネスマンであっても同じだと思います。ぜひそのことを意識して勉強に取り組んで、一生使える貴重な知識を、たくさん得てください。

<p>BizCom Vol.55 編集後記 Editor's postscript</p>	<p>繁忙期でしたが、無事に55号が完成出来てよかったです。 (富岡 哲也)</p>	<p>新入生が加わり新たな刺激を受ける毎日を過ごしています。今回ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。 (山本 壘)</p>	<p>M1のメンバーを迎え、新しい風を感じるようになりました。BizComも少しずつ変化をしながら受け継がれていくと思います。 (青樹 宏一)</p>	<p>優秀論文紹介のページを担当させて頂きました。受賞された諸先輩のお話、とても勉強になりました。 (山本 寿子)</p>	<p>気付けばあと半年で卒業!?! 早いものですね。卒業に向けて研究を進めなくては。がんばります! (福澤 雄太)</p>	<p>さまざまな人々と出会って、完成出来てよかったです。ご協力ありがとうございました。 (周 嘉柔)</p>
	<p>これからRBSメンバーにとって、有意義な情報を提供出来る様に頑張ります。 (松木 純一郎)</p>	<p>今までの流れも引き継ぎつつ、新たな試みも導入して皆様に読んで頂けるような記事を作りたいと思います。 (島田 彩子)</p>	<p>新任教授紹介を手伝わせていただきました。先輩方の段取りを見て何とか出来ました!次回も頑張ります! (河野 孝徳)</p>	<p>研究科で一番の若者として、精一杯がんばります。これからよろしくお願致します。 (川村 師大)</p>	<p>はじめての編集作業です。先輩と仲間たちのご協力をいただき、未知の自分に出会いました。 (劉 魁暁)</p>	<p>初めての編集の作業に携わり、皆様のお役に立つ情報を掲載できれば幸いです。今後もご愛顧頂きます様宜しくお願い致します。 (黄 国紅)</p>